

# 陸上運動部部便り

2004年9月号

一橋戦・OB戦

## 目次

1	一橋戦	1
1.1	監督の言葉	1
1.2	主将の言葉	1
1.3	女子主将の言葉	2
1.4	試合経過	2
1.5	試合結果	5
2	2004年度部内5傑 2004.9.18現在	7
3	OB戦	8
3.1	OB戦報告	8
3.2	OB戦結果	9
4	主務より	10

## 1 一橋戦

### 1.1 監督の言葉

一橋戦 監督 八田 秀雄

一橋戦は9月18日に駒場で行われました。今回から女子は津田塾大を入れた三大学の対校ということになりました。この大会はここ数年男子は接戦が続いていて、今回も6点差でした。それでも好記録はいくつか出てきて、収穫はありました。まず最初の100mで米田が10"6の大会新。110mHでも田中が初の14秒台で14"8の大会新。七大の失敗を吹っ切って自信をつけて行って欲しいものです。5000mでは松本が14'58"5の大会新と、3つの大会新はレベルの高いものでした。さらに一番盛り上がったのは走幅跳でした。まず佐野が6m83を跳ぶと、それに負けじと吉岡がとうとう7mを突破して7m01。最後に相川も6m91と、安定した追い風にも助けられて、走幅跳で好記録が

続きました。この他、投擲の1年にも、まずまずの記録が出てきました。3番手が揃わず、大量点差をつけた種目が走幅跳くらいで、両りレーにも負けるなどで、終わってみれば6点差ということになりました。しかし式場が400mに出て49"7など、4年生を中心に試合で結果を出すという点では、少し上向きになってきたことを評価することにしたいと思います。女子はトラックで圧勝して、第1回の3大学対校を勝ちました。順調に来ていると思います。また8月末の東海選手権で塩入が400mHで61"75の東大新を出しました。

### 1.2 主将の言葉

主将 式場健太

今年度の一橋戦は、9月18日に駒場で行われました。男子は、七大戦の屈辱を晴らすべく名誉挽回を期して臨んだ対校戦でしたが、事前のエントリー状況では苦戦が予想されていました。しかし、点をとるべき選手がしっかりと得点し、七大では全くふるわなかった4年生が発奮。終わってみれば、点差は一桁ながら確実に勝利をものにしました。個々の種目に目を向ければ、走幅跳で4年吉岡が7メートルを越えたのをはじめとして、相川、佐野の2人の2年生も関カレB標準突破。110mHで田中が14秒8の好記録で圧勝。京大戦に向けて明るい材料が増えてきました。まだまだ京大と比べると戦力的に見劣りはするものの、この大会で得た強さと自信を胸に、あと2週間練習に励みたいと思っています。いよいよシーズン最後の対校戦である京大戦が近づいてまいりましたが、よりいっそうのご声援をよろしくお願いいたします。

### 1.3 女子主将の言葉

女子主将 塩入敦子

9月18日に駒場グラウンドで一橋戦が行われました。女子にとっては津田塾大を交えた三大学対校戦の記念すべき第1回大会でありました。三大戦は、各大学2名の出場、4点制で試合が行われました。東大は100m、400mで1、2位を独占して大量得点を獲得したのをはじめ、トラックはリレーを含む全種目で優勝を果たしました。層の薄いフィールドでも1年本間を中心に得点を積み重ね、合計32点で総合優勝という結果でした。特に目立った記録はありませんでしたが、選手一人ひとりが各種目で自分の役割をきっちり果たし、チームの勝利に貢献してくれたと思います。次はいよいよ京大戦です。相手も戦力が充実しており、今までのように簡単には勝てないでしょう。しかし、ここまで共に戦ってきた仲間と自らの力を信じ、シーズン最後の対校戦を勝利で締めくくべく、残された日々を過ごしていきたいと思えます。引き続き、OB・OGの皆様のご声援をよろしくお願いいたします。

### 1.4 試合経過

#### トラック

#### 10:00 男子 100m 決勝

2レーンに米田(3年)、4レーンに式場(4年)、6レーンに瀧山(2年)の出場。米田は得意のスタートでレースの主導権を握ると、中盤に他選手をぐんぐん引き離していく。ラストで一橋の2選手に猛烈に追い込まれるもそのまま逃げ切り、1着10"6の大会新でゴールした。式場はスタートの反応が悪く出遅れるが、後半に前との差を一気につめていく。しかし惜しくも届かず4着11"0でゴール。瀧山はスタートからゴールまで終始動きにキレがなく、11"6の6着でフィニッシュ。1着から4着までの得点圏内の選手が激しくしのぎを削るハイレベルのレースであった。このとき向風0.9mであった。

#### 10:20 女子 100m 決勝

2レーンに小原(2年)、5レーンに塩入(4年)の出場。塩入は苦手のスタートで出遅れ、前半は集団に埋もれてしまう。しかし焦らず自分のレースを展開し、ラスト20mで抜け出ると12"9の1着でゴールした。小原は得意のスタートをきっちり決めると、うまく加速し先頭争いを繰り広げる。最後は塩入にかわされたが、13"1で2着を確保した。この時向風0.5mであった。

#### 10:40 女子 1500m 決勝

清水(2年)、向田(2年)の出場。スタートしてすぐに向田が飛び出し、これにつけたのは津田塾の選手一人のみ。清水は3番手で前とも後ろとも離れた一人旅の状態。400mを74"6のハイペースで通過した向田は、その後少しずつペースが落ちるものの、今回5分を切ることを目標にしていると言っていた通り、積極的に後ろの選手を離しにかかる。700mから徐々に開き始めた2人の差は、1000mの通過の際には決定的となり、残りはタイムとの戦い。800mから1200mまでのラップタイムはその前の周よりも上げるものの、今一步目標には及ばず、5'04"7でゴール。清水は初めからの3番手の位置を譲らず、5'27"6の3着でゴールした。向田が連覇を達成し、清水も実力を出し切った良いレースだった。

#### 11:00 男子 1500m 決勝

新井(2年)、平原(2年)、月崎(1年)の出場。七大戦、関東新人と続けて3分台で走っている、昨年優勝者の新井の連覇は确实。スタートから400mまでは月崎が先頭で引っ張るが、68秒ほどのややゆっくりとしたペース。その後、一橋の選手が先頭に出ると少しスピードが上がり、新井を除いた4選手は徐々に離されてしまう。800mを通過する辺りで先頭を奪った新井はその後トップを譲らず、最後の300mは45秒台の素晴らしいスパートを見せて4'05"2で快勝した。後ろの4選手は1200mまで集団が崩れずラストの勝負となったが、余力のなかった月崎が脱落し、自己ベストのペースで走っていた平原は少し力不足で、平原が4'16"8(自己ベスト)で4位、月崎が4'20"4で6位という結果に終わった。得

点では同点で引き分けたものの、相手との選手層の差を考えると、合格点とは言い難い結果であった。

#### 11:20 男子 110mH 決勝

2レーンに林(2年)、4レーンに田中啓(4年)、6レーンに梅沢(2年)の出場。田中は、苦手のスタートでは他の選手に遅れをとるも、素晴らしいハードリングで快調にインターバルを刻んでいく。10台目を越えた時点で後続とは大差がついており、14"8の大会新で、1着でフィニッシュ。ここ2試合アクシデント続きで完走できなかった悔しさを見事に晴らした。梅沢はスタート直後から一橋の西町と激しい2位争いを展開し、10台目でもほぼ同時。結局スプリントに勝る西町にかわされるも3着を守りきり、15"6でゴールした。三段跳が専門の林は、1台飛びごとに他選手に遅れをとっていき、大きなミスもなく16"5の好タイムでゴール。今後に期待できる結果となった。この時、向風0.3mであった。

#### 11:40 女子 400m 決勝

3レーンに塩入(4年)、6レーンに目黒(4年)の出場。スタート直後から二人で抜け出すと、2連覇中の塩入がリードを取る。塩入はぐんぐん加速し300mを42秒台前半の好ラップで通過。しかし連戦の疲れからか、急に足取りが重くなり最後は止まるようにゴール。1着は確保したが59"7という低調な記録に終わった。一方の目黒は、2日前に痛めた足をかばいやや自重した走りであったが、持ち前の粘りで最後は猛烈に追い込み、60"6の2着でゴール。短距離2種目でスコルクを達成し、大量7点を獲得した。

#### 11:55 男子 400m 決勝

1レーンに伊勢田(2年)、3レーンに式場(4年)、5レーンに石井(M1)の出場。レースは一橋の3選手と式場を中心に進み、各選手ともバックストレートを快調に飛ばしていく。第4コーナーを抜けてホームストレートに入ってきたところでも、4人がほぼ横一線の展開。最後は式場と一橋の酒井との一騎討ちになるが、式場は惜しくも胸の差でかわされ、同タイム2着の49"7でゴール。石井は

上位4人に必死に食らいつくが、スピードの差が顕著に出てしまい、5着50"9でフィニッシュ。本調子でなかった伊勢田はスタート直後からスピードに乗れず、6着52"0の残念な結果に終わった。

#### 13:30 男子 4 × 100mR 決勝

瀧山(2年)-米田(3年)-相川(2年)-式場(4年)の走順で出場。瀧山は個人種目の不調を引きずり、一橋に大きく遅れをとってしまう。2走米田がバックストレートをぐんぐん飛ばすが、差がつまりきらないまま3走相川へ。相川は走り幅跳びでベストを出した好調さをそのままに、逃げる一橋に必死に食らいつく。しかし、4走式場とのバトンも決まり完全に追撃体制に入ったところで、式場のふくらはぎが痙攣を起こしてしまう。式場は足を引きずりながらゴールしたものの、一橋には大きく離され2着44"2でゴール。

#### 14:40 男子 5000m 決勝

中原(3年)、村田(3年)、松本(1年)の出場。グラウンドコンディションは天候曇り、気温28度で風がかなり強く吹いていた。3選手とも合宿以来箱根駅伝予選会20kmの練習を中心としていたため、5000mへの対応が難しく、そろって調子はあまり良くないと語っていた。レースは6人全員が最初の1kmを3分で通過するが、そのペースを維持した松本から他選手が徐々に離れていくという展開になった。松本はラストの1kmを2'57でカバーし、14'58"5(大会記録)の1位でゴール。本人の目標14'50にはわずかに届かなかったが、安定した走りを見せたといえる。村田は2000m以降先頭から離れ、その後粘れず一橋の2位、3位からも大きく離れて15'49"8でゴール。中原は前半から苦しい表情を浮かべ、村田からも大きく離れて16'03"5でゴールした。京大戦では終盤一つでも順位を上げられるよう粘りのある走りが期待される。

#### 15:40 女子 4 × 100mR 決勝

小原(2年)-塩入(4年)-本間(1年)-目黒(4年)の走順で出場。小原はここでもスタートをきっちり決めると、外側の2チームとの差をぐいぐいつめていく。先頭でバトンを受けた

塩入は、追風に乗って他を圧倒する速さで突き放す。3走本間がやや一橋に差をつめられたが、課題であった目黒とのバトンパスを見事に成功させて抜け出すと、4走目黒はホームストレートを快走。52"1で制し、トラック全種目優勝を果たした。

#### 16:00 男子 4 × 400mR 決勝

伊勢田(2年)-石井(院1年)-村井(3年)-沖田(1年)の走順で出場。伊勢田は個人種目の悔しさを晴らすべく必死で走るが、48秒台のベストをもつ一橋の酒井には及ばず、10メートル近い差をつけられて2走の石井へバトンパス。これが最後のマイルリレーとなる石井はバックストレートでぐんぐん差をつめ、ラストの直線でもさらにギアを入れかえて追撃の手を緩めない。3走村井も石井のつめた差をよく守り、勝負は4走の沖田へ。沖田は1年生とは思えない積極的な走りで前半から全力で飛ばしていく。しかし、相手も個人種目で49秒台の記録を持つ選手であり、かわすことができずに2着3'23"6でゴール。攻めの姿勢を見せた沖田は50秒5の好ラップを記録した。

### フィールド

#### 10:00 男子 円盤跳 決勝

合田(2年)、持永(2年)、庄司(1年)の出場。合田は1投目から34m近い安定した投擲を見せた。そして、3投目に36m00の記録を残し、そのままその記録で1位となった。持永は1投目に23m63の記録を残したものの、その後の投擲は21m程の低調なものに終わってしまい、自己記録に5m近くも及ばない1投目の記録で6位となった。庄司は2投目に26m46と自己記録を10cm更新した。後半には2投目に迫る26m台の記録を残すものの記録の伸びはなく、2投目の記録で5位に終わった。

#### 11:20 男子 砲丸投 決勝

合田(2年)、小林(1年)、庄司(1年)の出場。計測間違い騒動が起きながらも、3人とも落ち着いて記録を伸ばしていく。3投目までに庄司は8m15を投げ、6位で折り返す。4投目

から回転投げやグライドなどチャレンジを繰り返すが、失敗し、記録は変わらず6位。小林は2投目、3投目と調子よく投擲を続け、5投目で10m20を投げて自己ベストを大幅に更新。2位に入った。合田は立ち上がりが良くなかったものの、終始落ち着いて投擲で記録を伸ばしていき、5投目に10m66を投げ1位で逃げ切った。

#### 11:20 女子 砲丸投 決勝

津村(4年)、本間(1年)の出場。津村は練習不足のためか、なかなか投擲の感覚をつかめなかったが4投目に5m34を出し5位であった。本間は1投目に7m30を投げ、3番手につける。さらに5投目に記録を伸ばし7m45で3位であった。

#### 13:00 男子 走幅跳 決勝

吉岡(4年)、相川(2年)、佐野(2年)の出場。上位独占に期待のかかっていた種目で、3跳目までに1、2、3位を占めると後半は東大勢の独壇場だった。まず4跳目に佐野がおなじみとなった手拍子に乗って6m83を跳ぶ。5跳目には吉岡が大台に乗せる7m01をマーク。さらに相川も6跳目に6m91の大ジャンプを見せ、一橋勢に上位を譲ることのないまま競技終了となった。三人揃っての自己記録更新、関カレB標準突破という素晴らしい結果で総合優勝に大いに弾みをつけた。

#### 13:00 女子 走幅跳 決勝

小原(2年)、本間(1年)の出場。追風の吹くよい条件であったが、小原は踏み切りの感覚がうまくいかず、記録が伸びない。そのため3本目に跳んだ4m23がこの日の最高記録となり、4位であった。本間は1本目にファールしてしまうが、その後は足が合い、3本目の4m65で2位となった。

#### 13:00 男子 やり投 決勝

池田(4年)、小林(1年)、関原(1年)の出場。池田は1投目に45m42とまずまずの記録を出し、2投目以降は記録を伸ばせなかったものの2位を確保する。小林は砲丸の自己ベストの勢いを生かしたいところであったが失敗投擲を続け6投目の35m52で5位。関原は2

投目に48m22を出すものの、その後リズムが崩れこの記録のまま終了。しかし1位は確保し、この種目東大勢は1・2位を占めた。

#### 14:50 男子 走高跳 決勝

田中啓(4年)、宮(2年)、木村(1年)の出場。田中、宮は1m75から、木村は1m60から競技を開始した。木村は公式試合でまだ1m60を飛べたことがなく、今日こそはという期待もあったが、残念ながらクリアできず記録なし。一方田中、宮はともに1m75、1m80を1度でクリア。その後、田中は1m85、1m90とも1度でクリアしたが、1m95はクリアできず、記録は1m90で2位。宮は1m85、1m90ともに3度目にクリアという粘りのある跳躍を見せたが、1m95はクリアできず、記録は1m90の4位であった。

### 1.5 試合結果

第46回東京大学・一橋大学対校陸上競技大会  
第1回東京大学・一橋大学・津田塾大学対校女子陸上競技大会

於 東京大学駒場第一グラウンド  
(H16.9.18)

男子 100m 決勝 (-0.9)			
1	米田武史	東京大	10"6
2	西町崇	一橋大	10"8
3	棟広隆	一橋大	10"8
4	式場健太	東京大	11"0
5	古川貴之	一橋大	11"5
6	瀧山健	東京大	11"6

男子 400m 決勝			
1	酒井佳樹	一橋大	49"7
2	式場健太	東京大	49"7
3	広瀬善規	一橋大	49"7
4	西町崇	一橋大	50"0
5	石井康夫	東京大	50"9
6	伊勢田明弘	東京大	52"0

男子 1500m 決勝			
1	新井邦生	東京大	4'05"2
2	富田哲朗	一橋大	4'07"9
3	岡田航	一橋大	4'14"2
4	平原唯灯	東京大	4'16"8
5	田中翔	一橋大	4'20"0
6	月崎竜堂	東京大	4'20"4

男子 5000m 決勝			
1	松本翔	東京大	14'8"5
2	鷓野恭平	一橋大	15'20"4
3	富田哲朗	一橋大	15'35"1
4	村田拓哉	東京大	15'49"8
5	中原健二	東京大	16'03"5
6	益田直樹	一橋大	16'34"5

男子 110mH 決勝 (-0.3)			
1	田中啓	東京大	14"8
2	西町崇	一橋大	15"5
3	梅沢啓	東京大	15"6
4	瓦田宗大	一橋大	15"7
5	林盛	東京大	16"5
6	棟広隆	一橋大	16"7

男子 4 × 100mR 決勝		
1	一橋大	42"1
2	東京大	44"2

(瀧山-米田-相川-式場)

男子 4 × 400mR 決勝		
1	一橋大	3'21"1
2	東京大	3'23"6

(伊勢田-石井康-村井-沖田)

男子 走幅跳 決勝			
1	吉岡和夫	東京大	7m01(+1.0)
2	相川啓佑	東京大	6m91(+1.1)
3	佐野太郎	東京大	6m83(+0.9)
4	石川順章	一橋大	6m57(+0.8)
5	瓦田宗大	一橋大	6m43(+1.7)
6	村木啓一	一橋大	5m10(+1.3)

男子 走高跳 決勝			
1	福富一喜	一橋大	1m95

2	田中啓	東京大	1m90
3	石川順章	一橋大	1m90
4	宮正彦	東京大	1m90
-	片桐久充	一橋大	NR
-	木村剛	東京大	NR

## 男子砲丸投決勝

1	合田隆彦	東京大	10m66
2	小林宗隆	東京大	10m20
3	西町崇	一橋大	9m35
4	栗原靖之	一橋大	9m20
5	定成俊政	一橋大	9m03
6	庄司宇	東京大	8m15

## 男子円盤投決勝

1	合田隆彦	東京大	36m00
2	栗原靖之	一橋大	32m74
3	武川晋也	一橋大	29m24
4	定成俊政	一橋大	28m82
5	庄司宇	東京大	26m46
6	持永新	東京大	23m63

## 男子やり投決勝

1	関原孝之	東京大	48m22
2	池田大行	東京大	45m42
3	栗原靖之	一橋大	41m74
4	岡田航	一橋大	40m73
5	小林宗隆	東京大	35m52
6	武川晋也	一橋大	26m57

## 男子トラック順位

1	一橋大	34
2	東京大	28

## 男子フィールド順位

1	東京大	31
2	一橋大	19

## 男子総合順位

1	東京大	59
2	一橋大	53

## 女子100m決勝(-0.5)

1	塩入敦子	東京大	12"9
---	------	-----	------

2	小原明恵	東京大	13"1
3	阿蘇品咲	一橋大	13"5
4	大高真梨子	津田塾大	13"6
5	上原藍	一橋大	14"1
6	高橋京子	津田塾大	15"7

## 女子400m決勝

1	塩入敦子	東京大	59"7
2	目黒亜由子	東京大	60"6
3	三上洋子	一橋大	63"5
4	大高真梨子	津田塾大	65"0
5	上原藍	一橋大	67"6
6	佐々木亜里紗	津田塾大	69"9

## 女子1500m決勝

1	向田恵	東京大	5'04"7
2	佐々木亜里紗	津田塾大	5'21"1
3	清水里紗	東京大	5'27"6
4	阿蘇品咲	一橋大	5'32"0
5	滝沢裕美	一橋大	5'32"9
6	金井由紀	津田塾大	5'35"2

## 女子4×100mR決勝

1	東京大	52"1
(小原-塩入-本間-目黒)		
2	一橋大	55"1
3	津田塾大	58"1

## 女子走幅跳決勝

1	三上洋子	一橋大	5m02(+1.0)
2	本間諒子	東京大	4m65(+0.6)
3	大高真梨子	津田塾大	4m62(+0.6)
4	小原明恵	東京大	4m23(+1.0)
5	高橋京子	津田塾大	3m42(+0.8)

## 女子砲丸投決勝

1	大高真梨子	津田塾大	8m06
2	赤尾里	一橋大	7m99
3	本間諒子	東京大	7m45
4	阿蘇品咲	一橋大	7m27
5	津村瑛子	東京大	5m34
6	高橋京子	津田塾大	4m80

## 女子トラック順位

1	東京大	26
2	一橋大	9
3	津田塾大	7

## 女子フィールド順位

1	一橋大	8
2	東京大	6
2	津田塾大	6

## 女子総合順位

1	東京大	32
2	一橋大	17
3	津田塾大	13

## 2 2004年度部内5傑 2004.9.18現在

## 男子 100m

1	米田 武史 (3年)	10"69(+0.6)	5.1
2	式場 健太 (4年)	11"12(+0.4)	8.1
3	相川 啓佑 (2年)	11"39(+1.3)	4.24
4	瀧山 健 (2年)	11"41(+1.3)	4.24
5	三好 信哉 (2年)	11"72(+1.5)	5.22

## 男子 200m

1	米田 武史 (3年)	22"12(+0.5)	5.15
2	相川 啓佑 (2年)	22"69(+1.2)	5.22
3	瀧山 健 (2年)	23"28(+0.7)	5.22

## 男子 400m

1	式場 健太 (4年)	49"7	9.18
2	堀内 壮太 (6年)	50"25	5.1
3	伊勢田 明弘 (2年)	50"79	8.1
4	沖田 朋憲 (1年)	52"51	6.19
5	小澤 聡 (1年)	52"53	7.11

## 男子 800m

1	村井 昂志 (3年)	1'57"67	4.29
2	庄司 一郎 (3年)	1'57"75	8.1
3	橋本 淳 (2年)	2'00"70	8.1
4	新井 邦生 (2年)	2'01"6	3.27
5	割沢 高行 (2年)	2'02"8	5.30

## 男子 1500m

1	松本 翔 (1年)	3'57"98	8.1
2	新井 邦生 (2年)	3'58"21	8.1
3	中原 健二 (3年)	4'05"24	5.22
4	庄司 一郎 (3年)	4'11"3	3.28
5	千島 悠司 (2年)	4'11"49	5.22

## 男子 5000m

1	松本 翔 (1年)	14'30"82	5.17
2	村田 拓哉 (3年)	15'28"25	8.1
3	中原 健二 (3年)	15'47"8	3.27
4	宮崎 哲平 (3年)	15'48"5	6.27
5	岡田 良平 (2年)	15'50"79	4.29

## 男子 10000m

1	松本 翔 (1年)	30'03"94	5.14
---	-----------	----------	------

## 男子 110mH

1	田中 啓 (4年)	14"8	9.18
2	梅沢 啓 (2年)	15"80(-1.3)	5.16
3	林 盛 (2年)	16"5	9.18
4	吉岡 和夫 (4年)	16"98(+1.2)	9.19
5	持永 新 (2年)	17"28(+0.3)	9.10

## 男子 400mH

1	磯部 洋輔 (2年)	60"92	8.1
2	伊勢田 明弘 (2年)	61"33	6.20
3	坂田 祐輔 (2年)	61"7	3.28

## 男子 3000mSC

1	深瀬 剛正 (4年)	9'38"44	4.18
2	岡田 良平 (2年)	9'43"43	8.1
3	山口 健介 (1年)	10'12"03	8.8
4	中原 健二 (3年)	10'18"39	7.11
5	山崎 大 (2年)	10'23"69	7.11

## 男子 5000mW

1	春木 洋輔 (5年)	22'04"56	7.31
2	深尾 宙彦 (2年)	26'13"75	7.31

## 男子 10000mW

1	春木 洋輔 (5年)	44'36"6	3.28
2	深尾 宙彦 (2年)	51'56"1	3.28

## 男子 ハーフマラソン

1	松本 翔 (1年)	67'09	7.4
2	門脇 充典 (3年)	83'07	4.11

## 男子 走幅跳

1	藤田 靖浩 (4年)	7m28(-0.2)	7.4
2	竹内 昌男 (2年)	7m15(+0.8)	4.25
3	吉岡 和夫 (4年)	6m90	4.18
4	相川 啓佑 (2年)	6m63	4.25

## 男子 三段跳

1	藤田 靖浩 (4年)	15m01	6.5
2	佐野 太郎 (2年)	13m97	5.22
3	林 盛 (2年)	13m02	4.4

## 男子 走高跳

1	宮 正彦 (2年)	1m95	7.11
2	田中 啓 (4年)	1m90	5.22
3	藤田 靖浩 (4年)	1m75	7.11
4	持永 新 (2年)	1m70	9.9

## 男子 棒高跳

1	持永 新 (2年)	3m80	9.20
2	佐野 太郎 (2年)	3m20	8.1

## 男子 砲丸投

1	合田 隆彦 (2年)	10m88	4.25
2	持永 新 (2年)	9m59	9.9
3	小林 宗隆 (1年)	9m36	8.1
4	田上 遼 (1年)	8m79	5.22

## 男子 円盤投

1	合田 隆彦 (2年)	37m71	5.22
2	持永 新 (2年)	27m30	8.1
3	倉員 智瑛 (1年)	26m73	5.22
4	庄司 宇 (1年)	26m36	7.11
5	吉岡 和夫 (4年)	24m82	7.11

## 男子 ハンマー投

1	合田 隆彦 (2年)	30m59	8.1
2	池田 大行 (4年)	23m95	8.1
3	庄司 宇 (1年)	17m45	8.1

## 男子 やり投

1	関原 孝之 (1年)	48m05	8.1
2	池田 大行 (4年)	47m03	5.17
3	田中 啓 (4年)	42m97	7.11
4	持永 新 (2年)	37m50	3.28
5	小林 宗隆 (1年)	37m48	8.1

## 男子 十種競技

1	持永 新 (2年)	5116	7.17,18
---	-----------	------	---------

## 女子 100m

1	塩入 敦子 (4年)	12"91(-0.6)	8.1
2	小原 明恵 (2年)	13"27(+1.0)	5.22
3	津村 瑛子 (4年)	14"82(+1.3)	5.22

## 女子 200m

1	塩入 敦子 (4年)	26"35(+0.0)	9.10
---	------------	-------------	------

## 女子 400m

1	塩入 敦子 (4年)	58"42	8.1
2	目黒 亜由子 (4年)	59"77	8.1

## 女子 800m

1	目黒 亜由子 (4年)	2'16"0	6.13
2	向田 恵 (2年)	2'28"20	5.22

## 女子 1500m

1	向田 恵 (2年)	4'57"56	4.29
2	清水 理紗 (2年)	5'27"6	9.18
3	河本 和美 (2年)	6'01"40	7.11

## 女子 3000m

1	向田 恵 (2年)	10'29"32	8.1
2	清水 理紗 (2年)	11'46"13	8.1

## 女子 400mH

1	塩入 敦子 (4年)	61"76	8.28
---	------------	-------	------

## 女子 走幅跳

1	小原 明恵 (2年)	4m35(+1.7)	5.22
2	本間 諒子 (1年)	4m23(+1.1)	5.22

## 女子 走高跳

1	本間 諒子 (1年)	1m30	8.1
---	------------	------	-----

## 女子 棒高跳

1	本間 諒子 (1年)	3m00	5.14
---	------------	------	------

## 女子 砲丸投

1	本間 諒子 (1年)	7m45	9.18
2	津村 瑛子 (4年)	5"64	8.1

## 3 OB戦

## 3.1 OB戦報告

親睦委員会 委員長代行 半田 禎 (昭和59年卒)  
本年度のOB戦につきましては、9月4日(土)に開催されました。雨天心配されましたが、何とか懇親会の終了まで持ちこたえ、盛会に終わること

ができました。

本年のコンセプトは大きく次の二点に総括されます。

1. アトラクション要素を導入してご家族(特にお子様・お孫様)が参加しやすくすること
2. 今後の記録性を重視しOB戦データベースの構築をスタートすること

### 1. アトラクション

お子様に積極的参加をいただき、オリンピック記念として世界新記録体験ツアーを企画しました。皆さん、走り高跳びの世界記録の高さにびっくりしたり、室伏選手の投げたハンマーを体験するなど、よい経験ができたのではないかと思います。お子様レースでも、800mWで小学校一年生が現役競歩を動かしたり(もちろんお子様は「疾走」です。)、ゼロ歳児(11ヶ月)が50mを完走(完歩?)したりと賑やかな企画となりました。

### 2. 記録

今回から、OB戦のデータベース化を目指します。記録は添付のとおりです。現役時代との差も脱みながら、OB戦にご参加いただけることで毎年の精進が確認できるよう、また、同世代の方々の励みになるようにしていきたいと考えております。当日は、MVP賞とMIP賞をご用意しましたが、MVPは梅本道生さん(昭和58年卒 棒 2m80)、MIPは室城信之さん(昭和57年卒 跳 走幅跳・1500m、5000m出場)がそれぞれ獲得されました。なお、MVP、MIPは表彰の関係上、懇親会まで残っていただいた方を有資格者としております。また、「競技はもうだめだ」とおっしゃるOBの方も懇親会のみでも当然出席可能です。来年度は隔年の蒼穹会を招いてのOB戦となる予定ですが、皆様のご参加をお待ちしております。坂本委員長が海外出張でご不在であったため、私が代行いたしましたのご報告申し上げます。

## 3.2 OB戦結果

### 2004年OB戦

於 東京大学駒場第1グラウンド(H16.9.4)

100m		
1組		
林義之	1967	18"7
池田浩	1985	13"9
宇佐美潤祐	1985	15"3
青木孝憲	2002	12"6
2組		
山崎英也	1948	15"1
石堂怜	1965	13"7
1500m		
太田充男	1984	4'54"3
清水明	1984	5'21"2
新妻拓弥	2001	4'03"4
難波聡	1995	4'50"6
安達太一	2003	4'27"1
室城信之	1982	5'20"6
島谷哲	1981	5'44"6
3000m		
渡辺吏	1984	14'35"1
工藤麻衣子	1994	14'06"1
清水明	1984	12'54"0
石井康雄	2004	10'12"4
5000m		
半田禎	1984	21'47"2
室城信之	1982	23'02"6
松崎孝大	2004	18'37"3
田坂和彦	2004	16'28"9
新妻拓弥	2001	DNF
難波聡	1995	18'43"3
太田充男	1984	18'05"8
原田直	1978	19'00"9
松浦幹太	1992	16'26"8
円盤投		
小笠原義之	2004	29m06
半田敬信	1986	24m52
藤原啓	2003	23m42
林義之	1967	16m51
土谷喬	1966	18m00

## 棒高跳

梅本道生	1983	2m80
石井康雄	2004	2m40
浅野浩二	1983	2m40
森尾正照	1966	2m40

## 走幅跳

室城信之	1982	4m55
------	------	------

## やり投

伊藤亮治	1996	47m04
小笠原義之	2004	34m97
土谷喬	1966	28m53
八田秀雄	1983	35m73
半田敬信	1986	25m58

## 50m

なんばたくと	4歳	14"4
ばばりさこ	小1	10"2
うめだたかし	小1	8"9
はんださえこ	小1	11"3
はんだゆいこ	小1	98"2
おざきりょう	小3	10"0
あさのはるか	小1	11"7

## 4 × 400mR

記録	50"5	
1走	南篠靖	2004
2走	青木孝憲	2002
3走	仁井谷興史	2002
4走	永田章人	2002

## 800mW

なんばたくと	4歳
ばばりさこ	小1
おざきりょう	小3
うめだたかし	小1
はんださえこ	小1
あさのはるか	小1

## 4 主務より

OB戦・懇親会に駆けつけて下さったOB・OGの方々を敬称略でご紹介いたします。ありがとうございました。

## OB戦参加者

1948年卒 山崎英也  
 1960年卒 梅田圭良  
 1966年卒 土谷喬  
 1966年卒 倉沢 璋伍  
 1966年卒 村田歎吾  
 1966年卒 森尾正照  
 1967年卒 林義之  
 1968年卒 湯浅味代士  
 1969年卒 森茂雄  
 1977年卒 系昭彦  
 1978年卒 原田直  
 1981年卒 島谷哲  
 1982年卒 室城信之  
 1983年卒 浅野浩二  
 1983年卒 梅本道生  
 1983年卒 八田秀雄  
 1984年卒 太田充男  
 1984年卒 半田禎  
 1984年卒 渡辺吏  
 1985年卒 池田浩  
 1985年卒 石川淳  
 1985年卒 宇佐美潤祐  
 1986年卒 半田敬信  
 1991年卒 馬場勝也  
 1994年卒 工藤麻衣子  
 1995年卒 難波聡  
 1996年卒 伊藤亮治  
 2001年卒 新妻拓弥  
 2002年卒 後藤真紀子  
 2002年卒 青木孝憲  
 2003年卒 安達太一  
 2003年卒 相原佑康  
 2004年卒 石井康雄  
 2002年卒 永田章人  
 1965年卒 石堂怜  
 1984年卒 清水明  
 2004年卒 小笠原義之  
 2004年卒 佐藤康治

1999年卒 明石顕  
1985年卒 尾崎徹  
1992年卒 松浦幹太  
2002年卒 仁井谷興史  
2002年卒 仁井谷聖実  
2004年卒 田坂和彦

懇親会参加者

1947年卒 月見里礼次郎  
2004年卒 小笠原義之  
1996年卒 伊藤亮治  
1991年卒 馬場勝也  
1979年卒 三谷勝明  
2001年卒 新妻拓弥  
1962年卒 辻義弘  
1982年卒 室城信之  
1966年卒 土谷喬  
1966年卒 森尾正照  
1964年卒 八島秀雄  
1983年卒 八田秀雄  
1986年卒 半田敬信  
1992年卒 松浦幹太  
1984年卒 清水明  
1994年卒 工藤麻衣子  
1984年卒 半田禎  
1985年卒 池田浩  
1983年卒 梅本道生  
1981年卒 島谷哲  
1978年卒 原田直  
1968年卒 湯浅味代士  
1984年卒 渡辺吏  
1967年卒 林義之

(敬称略)

文責：山口健介・平野茉来